

農業委員会だより

第3号



ふさの

編集・発行 与謝野町農業委員会

与謝野町加悦庁舎内 TEL 43-2191



大にぎわいのリンゴ祭り ～あっぷるふぁーむにて～

主なもくじ

- 農業委員会会長あいさつ……………2
- 中丹・丹後ブロック農業研修交流会…3
- 視察研修会報告……………4
- 安心・安全な農産物を学校給食へ…5
- 京都府農林水産業功労者表彰……………6



平成19年11月5日～30日をパトロール月間とし、協力員の協力を得て、遊休農地調査を行いました

「ごあいさつ」
与謝野町農業委員会

会長 三田 彌壽信



この度、昨年の6月に与謝野町農業委員会会長の重責を引受けすることになりました。旧岩滝町の男山で農業をされており、農事組合長として9年間生産調整や遊休農地の解消等農家の皆さんのお世話をしております。

昨年は、米価の大幅な安値スタートとなり、農業経営を直撃しました。原因は全国で過剰作付けにより、23万トンもの過剰米と消費の減少です。現在の米価は下がり続けて、昭和49年の政府買上げ価格と同じになっています。この様な状態で担い手の育成や農地を守ることが困難になってきています。

また、昨年は牛肉の産地偽装や食品の消費期限の改ざん、中国の冷凍餃子に至って問題になり、食の安心

安全を揺るがすような事になりました。中国やインドの経済発展やバイオ燃料作付けに伴い穀物の輸入がしにくくなり、近い将来食糧の取り合いが起こるとも言われています。食糧の自給率が昭和35年に79%であったのが、現在39%に下がってきています。国も自給率を上げる掛け声だけでなく、真剣に取り組まなければならぬと思います。

私達農業委員も地域の農業を守り、農業者の意見や要望に耳を傾けながら、農家の代表として優良農地の保全、農業振興に頑張る所存ですので、よろしくお願い致します。

農業委員の抱負

土肥 公



農業委員に選任され、約10ヶ月になります。

現在、農政は担い手を対象とした品目横断的経営安定対策の本格的実

施、農地、水、環境保全向上対策等、諸政策の実施により、地域農業も変わるうとしていますが、農業を取り巻く環境は、米価の低迷を始めとして、従事者の高齢化、後継者不足、農地の荒廃化など進行中です。近年は地球温暖化も進み、異常気象による災害も発生しています。

農業委員として「農家のくらしと地域農業の土台となる農地の保全と利用」を向上させるため、皆様と共に微力ではありますが努力したいと思います。

与謝野町農作業請負料金

参考価格(税込)

区分	単位	与謝野町
荒起こし	10a	10,000円
切り替えし	10a	6,000円
代かき	10a	7,000円
田植え(苗別)	10a	7,000円
コンバイン刈	10a	24,000円
計		54,000円
乾燥・調整	60kg	2,500円

※この請負料金は、参考価格ですのでほ場等の条件によっては割増がありますので、双方話し合いの上決めてください。

与謝野町
標準小作料改定について

与謝野町農業委員会では、今日の農業情勢の下での農業の担い手の育成と経営の安定化を図るため、標準小作料を設定しています。

今年度は3年に1度の改定の時期にあたり、小作料協議会に諮問し1月18日の農業委員会総会で可決され、以下の通り改定されました。

農地の区分 (田の部)	小作料の 標準額	物納換算 (210円/kg)	10a当たり
			10a当たりの 基準収量
A 農地 (平場)	9,000円	42.8kg	米505kg
B 農地 (山間地・傾斜地)	3,000円	14.2kg	米485kg

※この小作料は、平成20年から平成22年までの賃借に適用します。契約時の目安として標準小作料を設定しておりますので、双方で話し合いの上、小作料を決めてください。



全体会 体験発表

農地の現状は、農地の優良関係なく、高齢化に伴う担い手不足等々による農地の遊休・荒廃化が年々増加の傾向にあり、この対処策は、何処の地域でも同じであり、国による対処策が急務とされています。

有害鳥獣対策も同じで、シカ・イノシシは勿論、最近では、アライグマやヌートリアも年々増加の傾向にあり、この対策も国の対策はいうまでもありませんが、地域ぐるみの連携が必要です。

取り組み状況

まず、地産・地消ですが、各地区に「生産者組織」を発足させ、米・野菜類を中心に「学校給食」への安心・安全な地元農産物提供を行っている。

はじめに

農閑期の1月、福知山市大江町にて開催されました先進地の農業委員会から「農業振興と農地保全をリードする農業委員会」と題してその取り組み状況が、丹波竜の化石が発見され全国的に有名となった丹波市農業委員会から体験発表がありました。

具体的取り組み

①地産・地消の取り組み ②農地の現状 ③有害鳥獣対策 ④環境創造型農業の取り組みなどが紹介されました。

中丹・丹後ブロック
農業研修交流会に参加して

与謝野町農業委員会 職務代理 大江 義輝



分科会 意見交換

環境・創造型農業ですが、市島地区を中心に「有機の里づくり」をキヤッチフレーズに、特別栽培米『夢たんば』の生産拡大に取り組んでいる現状が紹介されました。

なお、第二部は分科会における意見交換会で、いずこも同じ悩みを持つていますが、特に綾部地区の『限界集落』を多く抱えている地域の現状が紹介され、私も中山間地域に住む者の一人として、農業政策の行政による抜本的対策が急務であること痛感させられました。

農地の売買・転用等許可件数及び面積 (計画変更含まず)

平成19年4月～平成20年3月

	件数	面積	説明
第3条申請	16件	14,601m ²	農地を農地として売買(賃借)する場合など
第4条申請	4件	2,455m ²	自分の農地を農地以外に転用する場合など
第5条申請	32件	18,355m ²	他人の農地を買ったり借りたりして農地以外のものに転用する場合など
形状変更申請	22件	22,068.78m ²	農地を効率的に利用するため田を埋め立てて畑や2枚田を1枚にする場合など
非農地証明	15件	7,810m ²	登記簿上農地でも現況が農地でないことの証明(但し農地で無くなってから10年以上経過していることが必要)



農業委員会

視察研修会 報告

奥出雲町の概要

農業委員会、任期は3年、その3年の間でただ一度の視察研修!!

『先進地農業の実態』をこの目で確かめ、勉強してることが目的で参加。

目的地は島根県奥出雲町。仁多町と横田町が合併し、人口1万6千人、世帯数5千、農業世帯数が45%を占める、まさに農家を中心とした家族的・協動的な町であった。

行政当局も、独自の農林業施策を考慮、検討し「町立病院」「リハビリ学校」、スポーツ施設は「人工芝のホッケー場」「無料のゴルフ練習場」、公共遊園地にはレジャー施設が完備し、町の活性化施策によって定住化を図るため「若者向き住宅」も並ん



仁多米貯蔵庫

でいる。国道よりも広い町道!! 消防水利専用の施設等々。

この奥出雲町は、狭い農地を大切にすするため大半の各種施設は、山を切り崩した場所に施設を作り、まさに農地・山林・水の環境に適合する『町づくり』を行っている。

全国に知られている「仁多米」

仁多米づくりの基本は、町が農家を大切にしていること。例えば、堆肥を格安で田へ散布してくれること。刈取りはコンバインの貸与制度があること等々。

仁多米カントリーエレベーターは、乾燥・糶摺・精米・袋詰が可能で、第三セクターの販売会社に総べて任せ、平成10年度から『仁多米』のブ



カントリーエレベーター



椎茸のパック詰め

ランド化を行っており、平成19年も60kg2万円の生産者単価で、会社も利益をあげておられる。

なお、隣接地には堆肥センターもあり、農業・畜産・林業による有機肥料化を図り、まさに循環型農業を展開されている。

また、椎茸栽培にも力が注がれており、広葉樹の植林から、ほだ木の製品化、椎茸の集荷・選別・包装・出荷まで、町の出資施設第三セクターにより運営されていた。

なお、象徴的であったのは、女性の従業員30名による礼儀正しい挨拶・応対には特に感激し、これが町の総べてのイメージであり、その雰囲気浸透し、すがすがしい気持ちで奥出雲町を後にした。

地産地消

安心・安全な農産物を学校給食へ



地元産の新鮮な野菜を岩滝小学校へ納入している組合があります。地産地消の取り組みを長年されていまます岩滝ふれあい朝市の代表、三田彌壽信さんにお話を伺ってきました。

いつ頃から、なぜ納入されるようになりましたか。

▼5年前、我々が開催しているふれあい朝市に岩滝小学校の栄養士さんが来られて、こないだ野菜があるなら給食に使いたいというお話があり、それから納入が始まりました。



岩滝小学校へ野菜の納入

どういった取り組みをされていますか。

▼組合員の畑を私が巡回して見てきたり、また何を栽培しているのか聞いたりして、納入できる農産物を学校側へ連絡し、学校より農協を通じて2週間分の注文をいただき、指定日の朝8時までには納入しています。苦労話やうれしいことなどあればお聞かせください。

▼大変なのは調理師さんが短時間で調理しなければならぬため、大きざや形の揃った物を集めたり、同じ野菜が連続して注文があるとき、特に実物野菜(ナス・ピーマン)などは毎日収穫が出来にくいので、物集めに苦労します。また夏休みなど長期にわたり注文がないときは野菜がだぶつき、始末に困っています。

うれしいことは、教育の中で子供達が畑を見学に来て青空教室をするんですが、そのときに「この野菜はこ

んな小さな種から出来るんだとか、この豆はこんな木に生(な)っているんだ」など教えてあげると、目を輝かせて観察している姿を見たり、「おじさん、いつもおいしい野菜をありがとう」といった内容の手紙をもらうと、この子供達のためにもっといい野菜を作ってやろうと励みになります。

今後の課題は。

▼学校と農家との連絡を密にして種蒔きの時から計画生産をしたり、農家側もみんなが同時期に同じ物を作らないようにして、一品でも多くの野菜を作り、学校が使っている農産物の50%位は地元農産物が納入できたらと思います。

また与謝野町内の学校や幼稚園、保育園にも安心安全な地元野菜が納入できるように各地域で取り組んでほしいと思います。

お話を聞きながら感じたことは、これからの日本を背負っていく子供達に安心安全な地元農産物を食べてもらって、心も体も健康に育ててほしいという思いが伝わってきました。私も組合員の一人として、代表の意思を重く受け止めて食の安全に努めて行きたいと思えます。

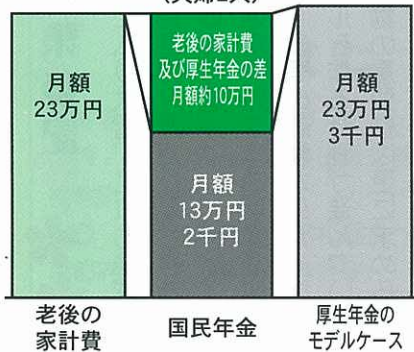
よくわかる農業者年金

Q 農業者の年金はどうなっているのですか？

A 国民年金は夫婦で月額13万2千円 農業者の方が加入している国民年金の年金額は、40年加入で1人月額6万6千円、夫婦2人で月額13万2千円、年額約158万円です。老後の家計費(夫婦2人で月額23万円)と比べて国民年金だけでは月額約10万円不足します。また、サラリーマンの厚生年金のモデルケース(夫婦2人で月額23万3千円)と比べても月額約10万円の差額があります。

このような国民年金で不足する老後の家計費やサラリーマン並みの年金を受給できるようにするため、国民年金の上乗せ年金として、農業者だけが加入できる農業者年金制度が設けられています。

老後の家計費や厚生年金のモデルケースと国民年金の比較(夫婦2人)





京都府農林水産業

功労者表彰!!

この度、平成19年度「活力ある農山漁村づくり団体」として、(有)あつぷるふあーむ代表取締役、小田浩二さんが京都府から表彰を受けられました。小田さんは、地域に夢を与える農業をめざして、リングのオーナー制度、観光農園施設園芸、水稲、農作業受託など

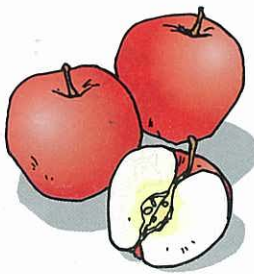


あつぷるふあーむ 中央が小田浩二さん

『作る経営から売る経営』へと転換し、昭和62年仲間と組織を立ち上げ、今では従業員20人で経営に取り組んでおられます。

同社の最大のイベント『リング祭り』は例年11月3日に開かれ、町内外からの家族連れなど約800人が訪れ、なんでも食べ物コーナー、収穫体験、ふれあい動物園等々、一日中楽しめるのが特長です。

その他、大江山登山マラソンへの協賛、ナイターによるグラウンド・ゴルフ大会の主催など地域に密着した施策は、他のイベントの追従を許さない盛況ぶりです。これからも「衣・食・住」の一つ『食』の安全と発展を期待しています。



許可申請の受付は
毎月15日です。

全国農業新聞

経営に役立つ・暮らしに役立つ



農業の
ことなら
農業新聞で!!

- お申込は 農業委員会事務局まで
- 購読料 月額600円(毎月4回発行)



編集後記

早春に入り大雪、これも地球温暖化の影響か？水が心配される時の雪は自然の恵み。

地球環境問題でCO₂の削減が叫ばれ、米・麦等の穀物からバイオエタノールを作る計画が進んでいる中、食物の重要性は更に求められる。

当町の農業も新しい方向へ進むのか？合併後も農業等、三町の制度の違いを調整していくのがむずかしい課題だ。

委員会だよりに皆様のご意見ご要望をお聞かせ下さい。(廣野)

【広報編集委員会】

委員長 有吉 正
副委員長 細井 秀治
委員 廣野 安樹
井上 晃
野口 重徳
白数 清一
三田 正弘
加畑 英明
小長谷 清八

【農業委員会事務局】

TEL (077) 432291
(加悦庁舎)